団体名: 知立市商工会

車業々	東紫輝亜(北县,日份)	(b) 事業実績 主たる 事業 評価																			
事業名	事業概要(背景・目的)		対象者	目 標①		目 標②				得られた効果				ABCD評価			今後の展開・改善			備考	
巡回·窓口相談指	本年度も支援策の活用を提案 することで小規模事業者の経 営基盤回復に努めるとともに、 創業予定者、事業承継予定者	<ul><li>・巡回窓口指導実企業数</li><li>721件</li><li>・巡回窓口指導延企業数</li><li>2242件</li></ul>		指標	巡回窓口指導 (達成度 133.5		指標		解決提案 157.8 %		物価高騰施、価格転嫁等、 小規模事業者が直面する 課題に対し、施策制度の活 用を提案することで解決策	総合	事集	`I A	事業	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②現行どおり	商工会が掲げるスローガン「行きます、聞きます、提案 します」を継続する	
導事業	には個別相談窓口を設け、知立市全体の活性化へと繋がる 支援を目指すものとする。	·課題解決提案件数 71件 ·経営革新承認件数	小規模事業者	目標数値	1680 実績 数値	2242	目標 数値	45	実績数値	71	を見出す指導を行ったことで、経営基盤改善に資する 大きな効果を得ることができ	部 A	評側価の	日海淡改市	益結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	ことで小規模事業 者が抱える課題を 解決させる支援へと	
90	個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定	2件 - 記帳指導事業所数 78件 指導延日数 404日 指導延日数 934回		指標	記帳指導事業所数標	指標	確定日	申告書受	:付数	た。 個人事業主等を対象に正 しい記帳方法の指導と決	総	事生	自己評価	調事	満足度	補足	目標①	目標②	繋げていきたい。 廃業等の理由により確定申告書(所得		
記帳継続指導	申告の指導を行い、適正な税 務申告と経理の自動化や計数 管理による経営力向上に結び 付ける。	・確定申告書受付数 338件 記帳機械化事業は弥生会計(経理 ソフト)による記帳指導、その他会	小規模事業者	目標	(達成度 102.6	%)	目標	(達成度	91.4 % 実績	%)	算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自動化や計数管理による経営力向上に結び付いた。	合	業施評側	日極凌成度	調査結果	B 必要性		現行どおり実施方法①	下げる 実施方法②	税・消費税)の受付件数が減少しているため目標値を下げる。	
		員には個別決算会等にて正しい記帳方法・決算申告指導を行った。	i	数値	76	78	数値	370	数値	338		1曲	100 0	В	*************************************	В		現行どおり	変更する	-	
	るため、小規模事業者にとって 必要な金融・税務・経理・労働・	個別相談会 (税務相談等29回開催、参加 者133人)		指標	講習会開催 (達成度 150.0		指標		会参加和		多様化する経営環境に迅速に対応することを主眼と した講習会を開催すること	総	事集	自己評価	調事	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	多様化する情報を 小規模事業者に正 確に伝えられるよ	
講習会事業	情報化等の知識習得や時事的 な問題についての啓蒙を図り、 事業者の資質の向上と円滑な	集団講習会 (経営講習会等10回開催、参 加者144人、うち広域連携分と	小規模事業者	目標	26 実績	39	目標	240	実績	277	_で、小規模事業者にとって 必要となる知識や情報の習 得に資する事業を複数開	合 評 価	業施評側価の	5	査結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	う、効果的かつ効率 的な情報発信を行 うことで参加者増を	0
	事業運営に資することを目的と する。 商工業の後継者である青年、	して経営革新1回3人) (1)次代を担う若手経営者、後継者セ		数値	数1		数値		数值		催することができた。 各種セミナーでは若手後継			A		A	補足	現行どおり	現行どおり	図る。 今後は、これらの活	
若手後継者等育成	若手後継者に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上 を図るための研修会を開催し、 小規模企業の振興・発展を目的とする。	ミナー 参加数 53名 (2)商工会青年部全国大会参加 参加者数 3名 (3)地域振興事業(サンタ企画) 参加 者数 9名 (4)女性部全国大会 参加数 3名 (5)防災講習会 参加者 9名	** T 60 600 **	指標	セミナー参加者満足度 (達成度 137.9 %)		指標	セミナー参加者数 (達成度 206.7 %)			者にとって必要なスキルが 習得できた。また、全国大 会での経験共有は資質向	総 合 .	事実業施	自己評価	事 調業 査	満足度	相足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	動をさらに発展させ、より多くの青年 部員及び女性部員	
事業			若手後継者	目標数値	70 実績 数値	96.5	目標数値	30	実績数値	62	上を図ることができた。サン タ企画では部員間の結束と 地域住民との関係を深める	評 A 価	評側価の	目標達成度	着への	必要性		実施方法①	実施方法②	の資質向上を図る と共に地域活性化 に向けた各種事業	
	中、地元中小商業者・商店街 が抱える経営課題を検討しつ	街路灯維持管理事業(4月~3月:318基)			街路灯基数						ことができた。 商店街の街路灯は地域貢献のために必要ではある			自己評価		A 満足度	補足	現行どおり	現行どおり 目標②	に取り組んでいく。 会員の高齢化や廃	
商店街・街づくり事			商店街及び 小規模商店	指標	(達成度 93.5 %)	%)	指標	(達成度	5 9	%)	が、商店街の会員数減少により街路灯の基数も減少傾向になっている。	総合評 A	事実施課例の		調業者 2	A		現行どおり		業等により、商店街 の会員数が減少し ているが、商店街の	
業				目標 数値	art 3/10 [55/08] 318	318	目標 数値		実績 数値					目標達成度	結への	必要性		実施方法① 現行どおり	実施方法②	街路灯は地域貢献 ためには必要であ るので現状維持に	
	各種懇談会、フォーラム、異業 種交流、ビジネスマッチング等	新入社員を中心としたビジネス マナー講座			セミナー参	 加人数					地域経済の根幹を担う小規 模事業者が単独で講習会			自己評価		A 満足度	補足	現们とおり	目標②	努める。 巡回及び各種情報 提供を利用し、参	
経営強化事業	の事業を実施し、企業交流の 場の提供、各企業の経営基盤 の強化、ビジネスチャンスの創造により、地域の商工業の発展 に寄与することを目的とする。	参加企業数9社 参加人数18人	管内企業の新 入社員及び中 堅社員	指標	(達成度 90.0	%)	指標	(達成度	(達成度 %)		事業等を開催するのは容 易ではなかったが、商工会 が主体となったことで社員	総 合 評 B	事 第 業		調査結	A		現行どおり		加の意義・利点を 周知し参加の推進	
				目標 数値	20 実績 数値	18	目標 数値		実績 数値		教育を始めとした地域商工 業の発展に寄与する事業	価	価の	目標達成度	果の	必要性		実施方法① 現行どおり	実施方法②	を図る。	
	中小・小規模事業者関連の施策利用 を促すため、施策掲載等を中心とした 広報誌を発行し幅広い間知を図る。ま	1.商工会報発行事業(発行日4 月·6月·8月·10月·12月·2月		指標	広報誌発行	丁回数	指標		 情報の発 態調査回		を開催することができた。 中小・小規模事業者へ関連 施策を周知し、その利用を	総	事生	自己評価	<b></b> 事	満足度	補足	目標①	目標②	広報誌の発行・各 種情報の周知は、	
調査・広報事業	た、市内の中小・小規模事業者に景況 調査を実施することで事業者に有用な 情報を開示するとともに、必要に応じア	発行回数6回) 2.各種情報の配布事業(年間6回)	中小·小規模 事業者		(達成度 100.0	%)		(達成度	100.0 9	%)	促すため、施策・制度情報 を中心とした広報誌の発行 と、有益な各種情報を配布	合 評 A	業施評側		調査結り	A 必要性		現行どおり実施方法①	現行どおり実施方法②	小規模事業者に とって重要である 為、引き続き実施す	0
	ンケート調査などを行うことで市内動向 を把握することを目的とする。	3.知立市景況調査(年間4回)		目標 数値	6 実績数値	6	目標 数値	10	実績 数値	10	することにより、中小・小規 模事業者の経営に資する 効果が得られた。	価	価の	A	果の	A		現行どおり	現行どおり	వ్.	
	近隣市町村(刈谷・安城・知立・高浜・ 東浦)による合同企業説明会を開催す ることにより雇用状況の改善に寄与す	1.合同企業説明会 (12月:刈谷産業振興セン ター、参加企業数9社)		指標	合同企業説明会	参加企業数	指標	永年勤続優	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	員表彰人数	1.人材確保が難しい中、安 価で参加できる合同企業説 明会は事業者にとって大変			自己評価	虫	満足度	補足	目標①	目標②	巡回及び各種情報 提供を利用し、事 業の意義・利点を	
雇用促進事業	るとともに、地元優良企業が優良な人 材確保の機会を得ることに資する。また、永年勤続優良従業員表彰事業に より、市内事業所に永年勤続し結励の	2.永年勤続優良従業員表彰事 業(11月:表彰者数58人)	商工会員 商工会員の事 業正分業号		(達成度 100.0	%)		(達成度 116.0 %)		%)	有益である。 -2.従業員の育成・定着の促進を図る一端を担うこととな	総 合 評 A	事業業施		調査者	A		現行どおり	現行どおり	周知し、参加を促進する。	0
	範たる者を表彰し、他の従業員の奮起や定着性及び勤労意欲の向上に資することを目的とする。		業所従業員	目標 数値	9 実績 数値	9	目標 数値	50	実績 数値	58	世を図る一端を担りこととなり中小規模事業者の経営の安定に繋がる。	価	価の	目標達成度	果の	必要性		実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり		
	青年部・女性部間での交流や 社会福祉を通じて地域との関	青年部 1.通常総会(1回:21名)2.講習		指標	事業開催		指標	事美	業参加人	.数	部会事業を数多く実施する と共に部員同士の交流も諮			自己評価	yle	満足度	補足	目標①	目標②	部員同士積極的に意 見交換をし自ら行動	
青年部•女性部事	わりを持つことにより地域社会 の発展に寄与すること、さらに 商工会の事業に積極的に協力	会(3回:68人)3.その他事業 (12回:162人) か性部	青年部•女性部	泪惊	(達成度 100.0	%)	疳悰	(達成度	122.5 9	%)	ることが出来た。また、青年 部では若手経営者後継者 として、女性部では女性経	総 合 評 A	事美	A	調査結	A		現行どおり	現行どおり	できる雰囲気を作る。 青年部女性部で積極 的に事業協力を行う。	
未	間工芸の事業に積極的に協力 し、地域振興発展に寄与することを目的とする。			目標 数値	25 実績 数値	25	目標 数値		343	営者等として必要なスキル を学び習得することができ	価	価の		果の	必要性		実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり	また、事業の意図を周知し参加を促す。		

## 実績報告書兼事業評価書(経営改善普及事業)

団体名: 知立市商工会

事業名	事業概要(背景·目的)	事業実績	主たる		事業評価														
学未石	学来N(女(月京·口口))	<b>学</b> 未大順	対象者		目 標①		目 標②			得られた効果		AE	CD評価	i		4	F点等 備考		
部会·委員会事業	員増強・経営育成・地域振興・ 会館運営などの各委員会活動 を行い、部会・委員会参加企業			指標	部会事業の参加人数	指標	委員会事	事業の参	加人数	小規模事業者や地域振興 発展に資する事業の実施	40	-	自己評	<b>E</b>	満足度	補足	目標①	目標②	今後も事業実施の ためにも部会・委員
			商工会員	111111	(達成度 117.1 %)	111.0%	(達成度 25.0 %)		%)	するため各部会・委員会を 開催したが、的確なニーズ	総合	事業	施 B	調業者	В		現行どおり	現行どおり	会の開催は必須で あるため、随時開催
	及び会員企業や地域の発展に 資することを目的とする。		151-127	目標数値	70 実績 82	目標 数値	100	実績数値	25	を図るとともに有用な事業を 開催したことで大きな効果 を得ることができた。	一部	評価		度果の	必要性		実施方法①	実施方法②	することで参加者増 を図りたい。
				数旭	数10	数旭		数旭					С		A		現行どおり	現行どおり	
	中小企業、小規模企業の経 営・雇用の持続的な安定を図る ために、各種共済制度の普及 や従業員の健康診断事業の実 施等、企業の健全な育成に資 することを目的とする。	1. 中小企業共済普及事業(679 口) 2. 火災共済普及事業(167件) 3.かきつばた共済普及事業(306 口) 4. ビジネス総合保険事業(34 口) 5. 従業員健康診断事業(1,025人)		指標	各種共済加入口数	指標	健康診	健康診断受診者数		中小小規模事業者の雇用 環境を安定化させるため、	40	-	自己評	<u>т</u>	満足度	補足	目標①	目標②	事業所の健全なる 運営に加え、自己
福利厚生事業			小規模事業者	111.014	(達成度 96.7 %)	111.034	(達成度	97.3 9	%)	各種共済制度の普及等に 務めることで、事業所の健	総合	B 業	施 B	調業者	В		現行どおり	現行どおり	財源確保へと繋げ るためにも継続して
田州子工事来			7 7,000 7 7,10 11	目標	実績 1186	目標	票 1053	実績 1025		全なる運営に資する事業を 行うことができた。	評価	評価		度果の	必要性		実施方法①	実施方法②	取り組んでいきた い。
				数值	数值	数値		数値					В		A		現行どおり	現行どおり	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事 業主に代わって労働保険料の 申告納付その他労働保険に関 する各種の届出等の事務手続 きを行うことにより、中小事業主 の事務処理の負担を軽減し、	1.労働保険事務組合事業 ・委託事業所数 109社 ・対象延従業員数 1,177人		指標	実委託事業所数	指標	延対象従業員数		員数	労働保険料の申告納付そ の他労働保険に関する各	40		自己評	ш ж	満足度	補足	目標①	目標②	会員企業の雇用状 況に応じて実績は
			委託事業所	1111111	(達成度 103.8 %)	111.034	(達成度	106.0	%)	種の届出等の事務手続き を行うことにより、中小企業	合	事業	施 A	調査業者	A		現行どおり	現行どおり	大きく左右される が、労働保険の未
万 副 小 区 李 米			女 北 子 木 / /	目標	実績 109	目標	1110	実績	1177	事業主の事務処理の負担 を軽減し、労働保険の適用 促進及び労働保険料の適 正な徴収に寄与した。		A 評 価		度果の	必要性		実施方法①	実施方法②	加入事業者に対し パンフレット等にて
	労働保険料の適正な徴収を図 ることを目的とする。			数値	数值	数値	数値	数値					A		A		現行どおり	現行どおり	周知し、加入促進 を行う。
		1.法人会事業 (構成員数 330社 事業参加人数1,126人)	【法人会】 法人の中小・	指標	青色申告会・法人会の 構成員数	指標	青色申告 各種事			青色申告会・法人会等の税務 支援団体・地域貢献団体の活	6/4	事	自己評	西 事	満足度	補足	目標①	目標②	会員ニーズを見据 えながらも、会員
青色申告会·法人	動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共	2.青色申告会事業(構成員数 158社 事業参加人数 61人)	小規模事業者	111.0%	(達成度 101.7 %)	1 EL DAY	(達成度 114.1 %)		%)	動をサポートし、事業運営に協力することにより国・地方公共 団体、地域社会への貢献や発	合	, 業	施 A	調業者	A		現行どおり	現行どおり	現行どおり ニーズに対応し組 織力の向上を目指
会事業	団体、地域社会への貢献や発 展のための一助となり、ひいて		個人事業者で ある小規模事業		実績 488	目標	1040	実績	1187	展のための一助となり、商工業の活性化に資する効果が得ら	一個	A 評 価		度果の	必要性		実施方法①	実施方法②	J. T.
	は、商工業の活性化に資する ことを目的とする。		者	数値	数値 488	数値		数値		れた。			A		A		現行どおり	現行どおり	
産業団体事業	労働基準協会等の労務支援団 体・地域貢献団体の活動をサ	労働基準協会事業(構成員数 145社、事業参加人数842人)		指標	労働基準協会の構成員数	指標	労働基準協	会が行 参加人		職場環境の改善や賃上げ への理解度を高めるために	40		自己評	<b>m</b>	満足度	補足	目標①	目標②	今後も協会本部と 連携を強化すること
	ポートし、事業運営に協力する ことにより、国・地方団体、地域 社会への貢献や発展、ひいて は商工業の活性化に資するこ	戉	小規模事業者 及び中小企業	10175	(達成度 96.7 %)	1812%	(達成度 70.2 %)		%)	様々な事業に取組んだこと で、商工業の活性化に資す	合	事 業	表 施 A	調業者	A		現行どおり	現行どおり	で賃上げへの理解 度を深めるととも
			者	目標	標 150 実績 145	目標		実績	842	る事業を行うことができた。	評価	D 評 価		度果の	必要性		実施方法①	実施方法②	に、ニーズに合致し た活動を行ってい
	とを目的とする。			数値	数値	数値	1200	数値	012				В		A		現行どおり	現行どおり	きたい。

<sup>※</sup> 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。